

2020 年 7 月 8 日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
代表取締役社長 辻田 泰徳
東京都千代田区麹町 5-1-1

全国で 35 カ所目となる新たな太陽光発電所の建設について

当社は、連結子会社である高知クリーンエネルギー合同会社を通じて、高知県高知市に新たな太陽光発電所を建設し、発電事業を行うことを決定いたしました。

当社グループはこれまで合計発電容量約 200 MW-dc^{*1}の太陽光発電所を稼働・運営しており、本件は全国で 35 カ所目の発電所となります。

今回建設する太陽光発電所は 2020 年 7 月に着工、同年 12 月に商業運転を開始する予定です。本発電所を含む当社グループ合計の発電容量は約 202MW-dc、合計年間予測発電量は約 20,758 万 kWh となり、一般的な家庭の年間消費電力量に置き換えると約 57,660 世帯分^{*2}に相当します。

芙蓉リースグループは、中期経営計画「Frontier Expansion 2021」において、「エネルギー・環境」を戦略分野の一つと定め、省エネ・脱炭素に資するビジネスを推進しております。最近では、消費電力の再エネ化を宣言した企業・団体を対象とする独自のファイナンスプログラム「芙蓉 再エネ 100 宣言・サポートプログラム^{*3}」の構築や、太陽光発電事業で得た知見を活かした、環境価値のあるグリーン電力を供給する「PPA^{*4}（電力販売契約）サービス」の提供、太陽光セカンダリー案件^{*5}の取得など、再エネ化・省エネ化に取り組む顧客へのソリューションの提供とファイナンス面でのサポートを拡大しています。

また、国内総合リース会社として初めての「RE100」参加企業として、自社の再エネ化も進めてまいります。

当社は今後も再生可能エネルギーの普及に努めるとともに、気候変動問題への取組を進めることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■高知市太陽光発電所の概要

事業会社	高知クリーンエネルギー合同会社
発電所所在地	高知県高知市
運転開始予定日	2020 年 12 月
出力規模（モジュール容量）	約 1.56MW-dc
年間予測発電量	約 173 万 kWh

*1 dc(direct current)、直流電流を指します。

*2 一世帯当たり 3,600kWh で算出しています。

*3 「再エネ 100 宣言 RE Action」及び RE100 参加企業・団体を対象とした優遇ファイナンスプログラム



*4 Power Purchase Agreement の略

*5 FIT 権利取得済みの建設未着工案件及び売電開始済み案件

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）木村・渡邊

電話番号 03（5275）8891 URL <https://www.fgl.co.jp/>



芙蓉総合リースは環境省が主催するESG・ファイナンス・アワード・ジャパンの
ボンド部門で、金賞（環境大臣賞）を受賞しました。